

伝説と歴史の舞台を歩く

比叡山(1)

大津市
DATA

 ● 歩行距離 約4km
 ● 歩行時間 約2時間


*亀堂、と呼ばれる聖尊院堂。まわりには石積みが残っている。美女の水を浴びる音はこの下の谷あいから聞こえてきたのだろうか。

もののけか妖怪か!? 聖なる山の七不思議



根本中堂のすぐ北にある総持坊の玄関に、一目で一本足の僧の絵が掛けられている。元三大師(良源)の厳しい教えを指導していた亡き慈忍和尚の化身だといふ。夜中になると鉦(かね)を叩いて山中をまわり、不心得な僧たちを懲らした。



総持坊の一つ目小僧

陰陽道では鬼の出入りする方を「鬼門」と呼ぶ。鬼門は北東の方角で、平安京の鬼門には比叡山延暦寺がある。そしてこの山には七つの不思議な伝説が残っている。

まずは東塔エリアの不思議を訪ねてみた。

東塔の第3駐車場付近は慈眼大師天海大僧正の住坊跡。ここに「なすび婆あ」と呼ばれる老女が住んでいた。この女は殺人の罪で地獄に落とされたが、仏の慈悲で比叡山に住むことが許された幽霊。織田信長の比叡山焼き討ちの際には、大講堂の鐘楼の鐘を鳴らして急を知らせたといふ。

延暦寺会館から麓の坂本へ下る本坂(表参道)は「船坂」とも呼ばれている。ある

夜、一人の山法師が坂本からこの坂を登る途中、念仏を唱える女の亡者に乗せた船を目撃する。亡者と目があつた法師は気を失い、翌日死んでしまったといふ。

本坂の法然堂から少し下ると、亀堂と呼ばれる聖尊院堂がある。このあたりに五智院(魔寺)があつた。寺の僧

が仏間からする音に誘われ、谷に下りてみるとそこに水こりをする美女の姿が…。「仏間の位牌は私のもの。極楽に行けるように魂を比叡山に預けて修行してました」と告げ、美女は姿を消したといふ。

西塔、横川の不思議な伝説にも思いをはせながら、東塔をあとにした。

「Walk on」とは

「歩き続ける」という意味の他に、舞台をちょっと歩くだけの行人人のような「端役」の意味があります。多彩な伝説や物語をもつ歴史豊かな「近江」という舞台を、登場人物のひとりになった気分であて歩いてみてはいかがでしょうか。



- モデルコース**
- ケーブル延暦寺駅 10分
 - 大講堂 3分
 - 根本中堂 5分
 - 総持坊 5分
 - 延暦寺会館・本坂 5分
 - 法然堂 5分
 - 聖尊院堂 45分
 - 本坂入口・日吉大社
- ※京阪坂本駅からケーブル坂本駅まで徒歩約10分。
 ※JR比叡山坂本駅から徒歩約25分。
 ※ケーブル坂本駅~ケーブル延暦寺駅所要11分。
 ※延暦寺は諸堂巡拝料(大人550円)が必要です。
 ※移動時間はあくまでも目安です。